

審議会等議事概要

第10回 滝川市子ども・子育て会議 議事概要

日 時	令和元年11月27日（水曜日）午後3時00分～午後3時45分
開催場所	滝川市保健センター2階講堂
出席者	田代雄一委員、井上久美子委員、猪股旬雄委員、種田貴志子委員、椿坂幸夫委員、平川泰之委員、細矢千鶴委員、堀田秀樹委員、山本典子委員 （欠席 榎本拓真委員、曾根英司委員、船奥保委員、山下幸二委員、山内祐子委員、中島淳委員（梅津俊一委員の後任）、芳村元悟委員） 事務局：國嶋保健福祉部長、前田子育て応援課長、米澤同課主幹、森健康づくり課長
議 事	1 開 会 2 保健福祉部長あいさつ 3 議 事 ①第2期滝川市子ども・子育て支援事業計画（素案・協議用）について事務局）資料1に基づき説明。要点は以下のとおり。 ・第2期計画は、次世代育成支援対策推進法に基づく市町村行動計画を兼ね、滝川市母子保健計画と一体のもととして策定し、障害児福祉計画と調和を保つとともに、滝川市総合計画、こども未来づくり条例の基本理念を踏まえる。 ・現計画における全市的な子育て施策の進捗状況及び新計画における変更事項。 ・滝川幼稚園については、次年度から施設型給付へ移行を予定していること。 ・主要事業の目標事業量の中で、預かり保育の確保見込み量がニーズ調査の数字に達していないこと。 ・放課後児童クラブにおいて、東地区については募集方法に一考を要する状況にあると思われること。 委 員）放課後児童クラブの関係で、東地区から中地区へと考えた時に何人くらい動けるのか、住所との関係はどうなるのか。 事務局）新年度募集となるため、流動的ではあるが、定員内で考えると15名程度かと思う。中地区の方が家からは近いケースもあるが、児童館へ行くのは学校からとなるため、振り分けにあたってどうするかは課題となる。 委 員）学童保育の対象ではなく、児童館で勝手に遊んでいる子もいる。5年生や6年生の、その子たちに移ってもらうということにはならないのか。 事務局）同じ施設を利用しているが、自由に来館している子と学童クラブを利用するのは条件が異なる。 委 員）高学年はしっかりしており、それで調整ということにはならないのか。 事務局）定員はオーバーしている状況だが、高学年はほとんどいない状況。ただ、本来であれば6年生まで利用できるようにする必要がある、高学年も受け入れいれるべきだとのことでもある。 委 員）結局、何とかなつてはいると理解して良いのか。 事務局）人数によって、厚生員の目が届きにくくなる面はあると思う。数年経てば必然的にお子さんの数も減るのだが、そうなるまでの間の策として一番多い東地区を何等かの方法で中地区へ移動してもらうことを考えている。 委 員）滝川幼稚園の新制度への移行と預かり保育の現状について説明願う。 委 員）次年度からの新制度移行に向け準備中である。教職員の確保に大変苦勞しており、住居手当を支給する等して集めている地域もあるようだが、新制度へ移行することで公費による処遇改善等も可能となり、教職員確保がしやすくなるを考える。また、預かり保育については、10月の無償化が始まってから10名ほど増えたが、状況に大きな変化はなく、希望者全員を受け入れている。

	委員) 一時預かり事業については、見込みが多く出すぎているということか。 委員) ニーズ調査なので、利用するかもという人、絶対利用したい人と、温度差はあると思われる。 委員) 結果として、何とかなっているということか。 委員) 現在、預かりを希望している人が67名いるが、看護師さん等は院内保育を利用する等しており、ほぼ問題ない状況である。 委員) まだ、受入増は可能か。 委員) 教員を増員させれば受入数をさらに増やすことも可能であるが、教員の確保に苦労している。長期休暇中であれば対応も可能だが、普段に関しては、単発のケースはあっても、そう増えることもないのではないかと考える。 ②その他について 事務局) 本日配布の資料を基に、未整理の部分を整理し、次回会議で改めて素案としてお示ししたい。そこでご了承いただければ、パブリックコメントを実施したい。本日の内容につき、ご意見等あれば年内を目途にお寄せいただきたい。 委員) 別件だが、滝川市において待機児童はいなかったが、無償化となってどうか。 事務局) 現在も待機とはなっていないが、お問い合わせは多々いただいている。その際、入れそうなら仕事をしようという人も多いが、まずは入所要件を満たしているかを確認させていただいて保育所の調整となる。また、空き自体はあっても特定の保育所でなければ入らないというケースもある。 委員) 今でも、仕事が決まっている場合、選ばなければどこかには入れるのか。 事務局) 0～2歳は、事実上埋まっているような状況。4月からの利用希望に関しては、改めて利用希望を取るので、その時にはほぼお受けできるものと考え。 委員) 今の時点で、仕事が決まったらすぐ入れたい、というケースは待機にならないのか、実際に困っているのではないか。 事務局) お困りの方はおられると思う。 委員) ルールが必要なのではないか。 事務局) 要件を満たしていれば、待機ということにもなる。0～2歳については、お子さんの人数に対して保育士を手厚く配置する必要がある。新年度の受付においてシフトを組むことになるが、年度途中で1人増える、2人増えるとなった際に保育士を増やすということが難しい現状である。 4 次回の会議日程、その他について - 委員の皆様は、12月9日までとなっている。所属の団体等からご推薦いただいた場合については、交代のケースもあろうかと思う。交代される場合は、次の委員になられる方の同意書をいただき、変更する手続きを取るので、よろしくお願いしたい。 - 議事録をホームページで公開することとしているが、内容を確認する委員として、椿坂委員を選出した。 - 次回会議については、1月後半に予定したい。 5 閉 会
会議資料	資料 第2期滝川市子ども・子育て支援事業計画（素案 協議用）